

CVFB

調布市消防団
広報誌

第4号

平成25年(2013年)1月13日 通刊第4号 発行/調布市消防団事務局 東京都調布市小島町2-33-1 文化会館たづくり西館3階 総合防災安全課内 TEL 042-481-7348



CONTENTS

分団紹介&写真で見る分団活動	P2
消防ポンプ車のしくみ	P3
消防団の今後の行事予定	P4
調布市総合水防訓練を実施しました	P4
調布市市民防災情報メールのお知らせ	P4

調布市消防団は、本部および全15個分団体制で消防団長以下304名により構成されています。



団員は、火災、河川の氾濫や地震などの災害時に市民の皆様の安全・安心を守るために、日夜消防活動に取り組んでいます。

また、災害発生時には、調布市消防団が丸となって、消火活動、水防活動、避難誘導などに対応していかなければならないと考えております。そして、これまで以上の努力と研鑽に努め、消防団員304名が一致団結し「郷土愛護の精神のもと、市民の皆様方が安全で安心して暮らせる調布市を目指して、より一層精進する所存でございます。

結びに、市民の皆様におかれましては、調布市消防団へのより一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。とともに、皆様の今年一年の益々のご健勝、ご多幸を心よりご祈念申し上げ、年頭の挨拶とさせていただきます。

調布市消防団長
清水孝夫

新年あけましておめでとうございます。市民の皆様におかれましては、平成25年の輝かしい新春を健やかに迎えることとお慶び申し上げます。また、平素より調布市消防団の活動にご理解とご協力をいただいておりますことに深く感謝申し上げます。

さて、昨年を振り返ってみますと、社会情勢の急激な変化や異常気象により災害も複雑多様化の状態にあり、調布市においても今後大きな災害がいつ起こっても不思議ではない状況となっております。

しかし、このような災害が発生した場合に備え、調布市消防団では火災はもと

分団紹介

調布市の各地域を担当する分団の紹介です。
3 個分団ずつ、分団長からのコメントと分団の活動写真により紹介していきます。

第3分団

第3分団は下石原地域、富士見町地域及び調布飛行場を含む調布市西側地域を火災発生時の出動範囲として、隣接する三鷹市にも応援出動しています。
消防団員としての活動は、火災発生時の消火活動をはじめ、消火活動に必要な訓練となる基本操法訓練を行っています。大規模な演習として、多摩川を中心とした水防訓練、地震による災害を想定した震災消防訓練などがあり、また、地域の方々に身近なところでは、火災予防の広報活動、下石原地域及び富士見町地域の方々との防災訓練を行っています。また、出動時に不具合がないよう、消防ポンプ車の点検を月2回実施しております。
これからも地域の方々の防火防災活動を大切に、第3分団一丸となって、さらなる努力を続けて参ります。

第3分団長 箕輪博昭



防火衣を着用し出動



分団員が団結し消火活動にあたる



日々の点検を欠かさない



ホース管理も行



狭い道に対応するためホースカーを使用する



無線を使って分団員に指示を出す

第8分団

第8分団は、多摩川一丁目から七丁目までと、小島町の一部の地域を担当しています。
調布の多摩川に沿って走る桜堤通りの京王相模原線に隣接した機械器具置場(詰所)を拠点とし、多摩川町内を中心に広範囲にわたる火災出動のほか、集中豪雨・台風接近時には多摩川河川敷の水防警戒活動にあたります。
また、町内の盆踊り・祭礼の警備等の地域活動も行っており、地域に根差した活動を行っています。団員構成については、公務員・サラリーマン・自営業と職業も様々です。
平成16年には機械器具置場の建替え、新型消防ポンプ車も導入し、円滑迅速な行動がとれるように設備の充実もはかっております。今後もいざという時に適切な行動がとれるように努力を続けて参ります。

第8分団長 鈴木豊



日々の訓練は欠かさない



ホースを連結し訓練に臨む



地元で火災予防について説明を行う



いつも機械器具置場で出動を待つ



火災が発生したら迅速に出動する



規律を正し、チームワークの向上をめざす

第13分団

第13分団は、仙川町、緑ヶ丘の地域および若葉町の部の地域を担当しています。
地域での活動として「おらほ仙川祭り」や地元イベントの警備活動、地域防災訓練の参加支援活動なども行っております。分団員は地元商店街を中心に、飲食店からクリーニング屋、和菓子屋、美容室、建設業など様々な業種を生業としています。
日頃から様々な災害に備えて、迅速に消火活動を行うための操法訓練、消防ポンプ車や消防資機材の点検を実施しているのはもちろんですが、和やかな雰囲気でも分団員同士の絆を深め合いながら活動を行っています。
これからも地域との絆や連携を大切に、地域に愛される消防団を目指して参ります。

第13分団長 鈴木康隆



操法の練習



無線運用訓練の様子



地元の防災訓練の様子(煙体験ハウス)



地元秋祭り警備の様子



消火栓の点検



地元の防災訓練(放水演習)

消防ポンプ車の紹介

消防団員は火災や震災対応等の活動、訓練、警戒活動時には消防ポンプ車に乗って出動します。このコーナーでは皆様に消防ポンプ車を知って頂くため、消防ポンプ車の主な搭載品等をご紹介します。



水を出す団員は防火服を着用して、火災現場に向かって構えます。



消火栓囲い

消火栓から水をとる際に近くに立ち入らないように、消火栓の周りを囲います。

2連はしご

高所への移動、要救助者の救出のため使います。



可搬ポンプ用吸管・スコップ

可搬ポンプ専用の、水を吸い上げる太い管です。先端にゴミよけの籠を取りつけます。

ルーフ

ルーフにも各消防資機材を積んでおり、様々な災害に対応します。

車内

無線等の連絡機器、AEDなどを搭載しています。



赤色警光灯

緊急車両の目印であり、サイレンと赤色灯の回転により周囲に注意を促します。

標識灯

所属する分団名を表示します。

サーチライト

遠方を照らす集光タイプと車両周辺を照らす散光タイプがあり夜間の活動をサポートします。



ホース筒先

吸水管から吸い上げた水は、吐水口を通り、ホースを通して筒先から水を放出します。



吸管

水を吸い上げる太い管です。自然水利から吸水する場合、先端にゴミよけの籠を取付けます。



吐水口

吸管から吸い上げた水を放出します。吐水口にホースをつないで筒先から水を放出します。



防災行政無線

震災などの災害時には電話が不通になることが予想されます。どのような状況でも連絡が取れるよう配備されています。



AED

AEDは、電気ショックを与えて心臓の働きを戻すことを試みる医療機器です。団員は普通救命講習や上級救命講習を受講し、緊急時の対応にそなえています。



ポンプ操作板

安全機能付きの液晶式ポンプ操作板。有効な注水圧力を操作、調整することができます。



収納ボックス

災害現場で必要な各消防資機材、ホースなどを収納できます。



ホース

20メートルの長さのホースです。ワンタッチで連結できます。



消火栓を開ける工具

消火栓を開ける際に使用する工具です。



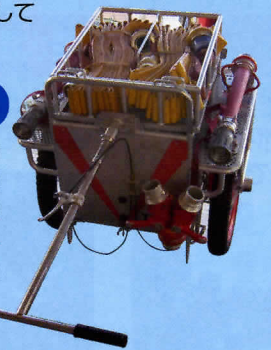
投光器

夜間の活動時に使用し、明りを照らして団員の活動をサポートします。



ホースカー

8~10本のホースを収納できます。ホースの延長にかかる負担を軽減し、円滑迅速にホースを伸ばすことができます。200メートル程伸ばせば、狭い道での火災に対応します。



後部

現場到着時に円滑迅速に対応するため、積み下ろしがしやすい後部にホースカーを積んでいます。

可搬ポンプ

持ち運び可能なポンプです。ポンプ車が入れない、河川敷等の火災で活躍します。



発電機

夜間の火災等、災害時の非常電源として使用します。

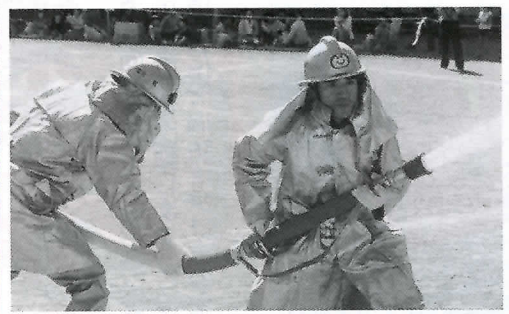


平成25年の主な予定

1月13日	出初式
1月25日	文化財防火演習
2月16日	消防ポンプ車技能講習会
3月1日	機械器具特別点検
3月1日	春の火災予防運動
3月1日～7日	新入団員等任命式
4月1日	機関員訓練・規律訓練
4月下旬	第8消防方面本部・
5月中旬	調布市合同水防訓練
9月上旬	調布市消防団操法大会
9月下旬	北多摩消防大会
10月中～下旬	調布市総合防災訓練
11月9日	東京都消防団操法大会
11月中旬	秋の火災予防運動
11月25日	震災消防演習
12月25日	歳末消防特別警戒

そのほか、地域の防災訓練や催事等にも参加しています。
(予定は変更される場合があります。各行事の詳細は消防団事務局までお問い合わせください。)

消防歴史写真館



防火衣のことを「さしこ」といい、木綿の袷を刺しつづいた衣服のことをいいます。写真の「さしこ」は「火消しばんてん」と呼ばれ、大正時代の初期に市内の布田で新調されました。背中の部分には「布多」と大きく書かれ、その下には五宿(旧調布町地区)を示す太い五本の横線が入っています。当時はこの火消しばんてんを着用し、消火活動にあたっていましたが、これは「江戸時代の町火消し」と同じ性格をもつ地域消防が健在だったことを物語っています。調布市消防団ではその後、銀色の「さしこ」を着用し、現在では金色の「さしこ」を着用して消火活動にあっています。

積土のう工法

水防において最も基本的な工法で、段違いに土のうを積み、堤防からの越水や、地下街などへの浸水を防ぐ工法です。



土のう袋に土を入れ、土のうを作成していく



作成した土のうを、一輪車を使って運んで行く



土のうを積み重ねて、水害に対する防水壁を作る

陸閘(りっこう)閉鎖

河川等の堤防の開口部分を閉鎖板により塞いで、暫定的に堤防の役割を果たします。訓練ではポールを立て、堤防に見立ててポール間に木板を積み重ねます。



木板を積み重ねていく



木板を積み重ね、堤防側に土のうを積んでいく

住宅浸水防止工法

住宅など建物内への浸水被害を軽減するため、家庭等で比較的簡単に入手できるビニール袋と段ボール箱、プランター、ポリタンク、レジャーシートなどを活用した土のうを作成する水防工法です。



浸水建物からの排水活動

可搬ポンプを活用して浸水した建物からの排水活動を行います。



調布市消防団全15分団が消防ポンプ車に乗り込む



消防ポンプ車に乗って消防団員が出勤する



出勤後待機し、指揮本部からの命令を待つ



指揮本部からの指示により工法に取り掛かる



消防少年団員募集

市内の1年生から6年生までの小学生を募集しています。

調布消防少年団は、地震や火災から自分で身を守ることに楽しく学び、訓練をしています。また、鼓笛隊としても活動し、防火防災を市民の皆さんに広めています。

【お問い合わせ】

調布消防署防災安全係 042(486)0119

調布市市民防災情報メールの配信が始まりました!

登録されたパソコンや携帯電話に下記の情報が配信されます。

- 緊急のお知らせ ●気象注意報・警報(調布市)
- 地震情報 ●週末の天気予報 ●市からのお知らせ

◇登録方法

下記アドレスまたは右のQRコードに空メールを送信して下さい。

entry-chofu@bousai-mail.jp

問い合わせ：調布市総合防災安全課 042-481-7346



消防団員募集!

調布市消防団と地域のみなさまがあなたの力を待ち望んでいます!

調布市消防団事務局 (調布市役所総合防災安全課内)

お問い合わせ ☎042-481-7348

入団資格 調布市に居住しており、年齢18歳以上の健康な方